

新規制基準への適合性審査の状況

これまでの主な審査項目の進捗状況は、下表のようになっており、2月23日の地震等関係の審査会合において、「地盤の安定性評価」が概ね妥当な検討がなされたとの評価が得られました。

引き続き、施設関係の「津波影響評価を踏まえた津波設計の基本方針」、地震等関係の「取りまとめの審査会合」の審査に取り組んでまいります。

審査区分	これまでに確認された項目	今後の確認項目
施設関係	<ul style="list-style-type: none"> ○設計基準関係（「基本的安全機能【臨界防止、遮蔽、閉じ込め、除熱】」「損傷の防止【火災、竜巻、火山】」等） ○耐震設計の基本方針 	<ul style="list-style-type: none"> ○津波影響評価を踏まえた津波設計の基本方針
地震等関係	<ul style="list-style-type: none"> ○火山影響評価 ○地質・地質構造 ○地震動、基準地震動、基準地震動の超過確率、基準地震動に基づく建屋の入力地震動、地盤の安定性評価（2月23日） ○津波評価方針のうち、仮想的な大規模津波の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ○取りまとめの審査会合が行われる見込み。

なお、詳細につきましては、当社ホームページをご覧ください。

URL <http://www.rfsc.co.jp/news/news/index.html>

今後も、安全を第一義に全力で審査に取り組んでまいります。

平成30年度RFSモニター募集

リサイクル燃料貯蔵株式会社では、「リサイクル燃料備蓄センター」に対する理解を深めていただくとともに、地域の皆様からご意見・ご要望をいただき今後の事業運営の参考とするため、RFSモニターを募集いたします。

【委嘱期間】

平成30年5月から平成31年3月まで

【活動内容】

原子力関連施設への見学会、アンケート回答等年5回程開催

【応募資格】

満20歳以上、下北地域および横浜町在住の方、平日参加可能な方

※平成25年度～平成29年度RFSモニターの方は対象外とさせていただきます。

【募集人数】

15名程度

【応募方法】

郵便番号、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、職業、モニターに応募した理由を記入の上、ハガキかFAXでご応募ください。

【応募締切】

平成30年3月30日（金）（郵送は当日消印有効）

【選考結果】

RFSモニターになっていただく方には、平成30年4月6日（金）ま

で、ご本人に通知いたします。選考されなかった方にはご連絡は差し上げませんので、あらかじめご了承ください。また、選考内容等に関するお問い合わせにはお答えいたしかねますので、併せてご了承ください。

【応募先】

〒035-0022 青森県むつ市大字関根字水川目596番地1
リサイクル燃料貯蔵株式会社 地域交流グループ宛（担当：多比羅）
TEL:0175-25-2992 FAX:0175-25-2991

※お預かりした個人情報、当社において厳正に管理し、当モニター活動に限り使用させていただきますので、ご了承ください。



当社での事業概要説明

2月17日 18日 首都圏であおもり下北うまいものフェア開催!

土 日

東京都東大和市イトーヨーカドー東大和店にて下北半島内6市町村の名産品の物販イベントが行われました!

たくさんの方がご来場され、各地の名産品を堪能されていました!



むつ市



大間町



東通村



風間浦村



佐井村



横浜町

主催：東奥日報社 協賛：リサイクル燃料貯蔵(株)、電源開発(株)
後援：むつ市、大間町、東通村、風間浦村、佐井村、横浜町
協力：(一社)しもきたTABIあしすと

3月2日 下北ジオパーク講演会・認知症サポーター養成講座を開催!

金

「むつ市企画部ジオパーク推進課」、ならびに「むつ市地域包括支援センター桜木」の皆さまにお越しいただき、社員への下北ジオパークの取り組みについての紹介と認知症サポーター養成講座を行っていただきました!

<下北ジオパーク講演会>

下北ジオパークの魅力、下北ジオパークが日本ジオパークに認定されるまでの経緯、その他様々な取り組みについてご紹介いただき各ジオサイトの魅力や地域一体となった様々な取り組みが行われていることを再認識することが出来ました。

当社も保全につながる清掃活動や情報発信等、引き続き下北ジオパーク活動を応援してまいります!



下北ジオパーク講演会の様子



認知症サポーター養成講座の様子



<認知症サポーター養成講座>

認知症の知識や認知症サポーターの役割について等講演をいただきました。

むつ市では、認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるまちづくりが推進されており、当社としても、微力ながら一助となれるよう今後、認知症サポート事業所への申請を行う予定です。